

分担研究報告書

人材育成

研究分担者 要 伸也 杏林大学医学部腎臓・リウマチ膠原病内科  
和田 健彦 東海大学医学部内科学系腎代謝内科学

**研究要旨：**多職種連携・チーム医療の推進を目的として、看護師・保健師、管理栄養士、薬剤師を対象とする腎臓病療養指導士の育成を進めるとともに、CKDの多職種介入に関する多施設研究に協力、新たに作成した多職種連携マニュアルにその成果を盛り込んだ。また、腎臓病療養士の地域差解消に向けた取り組みも始まっている。CKD指導を担う人材育成と全国的な均霑化、チーム医療の強化を通じて、多職種連携が促進され、CKD診療水準の向上に寄与することが期待される。

A. 研究目的：

看護師/保健師、管理栄養士、薬剤師等の人材を育成し、CKD 診療に携わる医療従事者数の増加を図る。具体的には、R4 年度中に、1) 腎臓病療養指導士の継続的な育成、2) 腎臓病療養指導士の地域差是正に向けた方策の立案、3) 厚生労働科学研究腎疾患政策研究「慢性腎臓病（CKD）患者に特有の健康課題に適合した多職種連携による生活・食事指導等の実証研究（代表要 伸也）」との連携による多職種連携の強化、などに取り組む。

B. 研究方法：

1) 腎臓病療養指導士の継続的な育成：第6回腎臓病療養指導士資格認定に向け、認定のための講習会の実施、研修記録の評価、試験応募および試験の実施と認定、などを順次進める。また、2018年第1回認定者が5年目の更新時期となるため、コロナ禍における時限措置として1年の猶予を認めつつ、資格更新を進める。

2) 腎臓病療養指導士の地域差是正：寡少地域への支援策の一つとして、テキストとなる「腎臓病療養指導士のためのCKD指導ガイドブック」（2021年10月発行）を配布し、講習・試験方

法についても検討する。地域マップに療養士数の都道府県別年次推移のデータを提供し、これを可視化する。その他、各都道府県の連携の会の支援策について検討する。

3) 厚労科研要班との連携：厚生労働科学研究腎疾患政策研究「慢性腎臓病（CKD）患者に特有の健康課題に適合した多職種連携による生活・食事指導等の実証研究（代表要 伸也）」で行っている多職種連携の多施設共同研究（全国の24施設、3015名が参加）により、多職種介入がCKDステージG3～G5において腎機能悪化を抑制するかどうか明らかにし、効果的な介入方法の分析をおこなう。また、この成果を含めた多職種連携のためのマニュアルを作成する。

4) チーム医療に資する若手医師の育成：腎臓専門医や研修医を含む若手医師を育成する。

（倫理面への配慮）

腎臓病療養指導士名を公開するにあたり、個人情報管理に十分な配慮を行った。

C. 研究結果：

1) 腎臓病療養指導士の継続的な育成：2022年5月29日東京医科歯科大学鈴木章夫記念講堂

において認定のための講習会を開催し、現地およびオンディマンドを合せて数百名の参加があった。認定試験には 492 名の応募があり、2023 年 1 月 30 日に認定試験を実施、受験者 473 名中 469 名が合格となった。1~6 回合計で資格認定者は 2,404 名となった。また、第 1 回認定者のうち規定を満たした 93 名について、資格を更新した。

2) 腎臓病療養指導士の地域差是正:「腎臓病療養指導士のための CKD 指導ガイドブック」を、人口比で療養士の不足している地域の基幹施設(日本腎臓学会教育認定施設、J-CKDI 幹事施設)の指導者に配布した。認定のための講習会は現地開催とオンディマンドの両方式で行い、利便性に配慮した。今後は、地域からの受験機会の増加策として、地域における CBT 方式など認定試験の分散開催についても検討する。また、地域の実情に見合った支援が必要なことから、各都道府県の連携の会の設立と地域における療養士活動の支援を強化することとした。J-CKDI で作成中の地域マップに、療養士数の都道府県別年次推移のデータを掲載し、地域の療養士数の把握が可能となった。

3) 厚労科研要班との連携:多職種連携の多施設共同研究(全国の 24 施設、3015 名が参加)により、多職種介入が CKD ステージ G3~G5 において腎機能悪化を抑制することが明らかとなった(Abe M, Kaname S, Clin Exp Nephrol, 2023)。また、この成果を含めた多職種連携のためのマニュアルを作成した(「CKD ケアのための多職種連携マニュアル」pdf 版、要 伸也監修、全 100 ページ)。

4) チーム医療に資する若手医師の育成:腎臓専門医試験・研修医のための腎臓セミナーを実施し、若手医師の育成に携わった。

#### D. 考察

腎臓病療養指導士の増加により、CKD 療養指導の知識・技能を有し、チーム医療を支える人材育成が進みつつある。しかし、人数は不足しており、活躍の場や十分ではない。今後は、地域偏在も考慮したさらなる育成を進めるとともに、腎臓

専門医と連動した地域活動、糖尿病療養指導士等の他の療養士との連携を推進していく必要がある。多職種連携のエビデンスが示されたことにより、さらなるチーム医療の推進や診療報酬の獲得に向けた取り組みの加速が期待される。

#### E. 結論

腎臓病療養指導士を中心とするCKD診療メディカルスタッフの育成とその効果検証が、多職種連携・チーム医療の強化を通して、腎臓病診療の水準向上に寄与することが望まれる。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

1. Abe M, Hatta T, Imamura Y, Sakurada T, **Kaname S**. Effectiveness and current status of multidisciplinary care for patients with chronic kidney disease in Japan: a nationwide multicenter cohort study. Clin Exp Nephrol. 2023 Mar 31. doi: 10.1007/s10157-023-02338-w. Online ahead of print.
2. 要 伸也: 多職種協働によるキャリア支援. 資格創設による看護職への期待. 臨床透析 38 卷 11 号 Page1420-1425, 2022.
3. 要 伸也: 人材育成の進捗と課題. 特集/腎疾患対策検討会報告書の進捗と課題. 腎臓内科 16 卷 6 号, Page676-681, 2022.
4. Sada KE, **Kaname S**, Higuchi T, Furuta S, Nagasaka K, Nanki T, Tsuboi N, Amano K, Dobashi H, Hiromura K, Bando M, Wada T, Arimura Y, Makino H, Harigai M. Validation of new ACR/EULAR 2022 classification criteria for anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis.

- Mod Rheumatol. 2023 Jan 27;road017. doi: 10.1093/mr/road017. Online ahead of print.
5. Nagasaka K, Amano K, Dobashi H, Nagafuchi H, Sada KE, Komagata Y, Yamamura M, Kato M, Endo T, Nakaya I, Takeuchi T, Murakawa Y, Sugihara T, Saito M, Hayashi T, Furuta S, Tamura N, Karasawa K, Banno S, Endo S, Majima M, **Kaname S**, Arimura Y, Harigai M. Nation-wide Cohort Study of Remission Induction Therapy using Rituximab in Japanese patients with ANCA-Associated Vasculitis: effectiveness and safety in the first six months. Mod Rheumatol. 2022 Dec 8;roac150. doi: 10.1093/mr/roac150. Online ahead of print.
  6. Miyawaki Y, Fujii T, Anan K, Kodera M, Kikuchi M, Sada KE, Nagasaka K, Bando M, Sugiyama H, **Kaname S**, Harigai M, Tamura N. Concordance between practice and published evidence in the management of ANCA-associated vasculitis in Japan: a cross-sectional web-questionnaire survey. Mod Rheumatol. 2022 Oct 1;roac118. Online ahead of print.
  7. Ono K, Karube M, **Kaname S**. Dialysis Catheter Site-Related Tenderness and Erythema. Kidney360. 2022 Apr 26;3(5):979-980. doi: 10.34067/KID.0000592022. eCollection 2022 May 26.
  8. Watanabe R, Oshima M, Nishioka N, Sada KE, Nagasaka K, Akiyama M, Ando T, Higuchi T, Inoue Y, Kida T, Mutoh T, Nakabayashi A, Onishi A, Sakai R, Waki D, Yamada Y, Yajima N, Tamura N, **Kaname S**, Harigai M. Systematic review and meta-analysis for 2023 clinical practice guidelines of the Japan research committee of the ministry of health, labour, and welfare for intractable vasculitis for the management of ANCA-associated vasculitis. Mod Rheumatol. 2022 Sep 16;roac114. Online ahead of print.
  9. Ono K, Ishibashi Y, **Kaname S**. Successful Kidney and Hematopoietic Stem Cell Transplantation for Malignant Lymphoma from Different Donors: A Case Report and Literature Review. Transplant Proc. 2022 Jul-Aug;54(6):1589-1593. Epub 2022 Jul 13.
  10. Harigai M, **Kaname S**, Tamura N, Dobashi H, Kubono S, Yoshida T. Efficacy and Safety of Avacopan in Japanese Patients with Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis: A Subanalysis of a Randomized Phase 3 Study. Mod Rheumatol. 2022 Apr 28;roac037. Online ahead of print.
  11. Arikawa S, Fukuoka K, Nakamoto K, Kunitomo R, Matsuno Y, Shimazaki T, Saraya T, Kawakami T, Kishimoto M, Komagata Y, Kurai D, Ishi H, **Kaname S**. Effectiveness of neutralizing antibody cocktail in hemodialysis patients: a case series of 20 patients treated with or without REGN-COV2. Clin Exp Nephrol. 2022 May;26(5):476-485.
  12. Nagasaka K, **Kaname S**, Amano K, Kato M, Katsumata Y, Komagata Y, Sada KE, Tanaka E, Tamura N, Dobashi H, Nanki T, Harabuchi Y, Bando M, Homma S, Wada T, Harigai M. Nation-wide survey of the treatment trend of microscopic polyangiitis and granulomatosis with polyangiitis in

Japan using the Japanese Ministry of Health, Labour and Welfare Database. Mod Rheumatol. 2022 Aug 20;32(5):915-922.

13. Doi K, Kimura H, Kim SH, Kaneda S, **Wada T**, Tanaka T, Shimizu A, Sano T, Chikamori M, Shinohara M, Matsunaga YT, Nangaku M, Fujii T. Enhanced podocyte differentiation and changing drug toxicity sensitivity through pressure-controlled mechanical filtration stress on a glomerulus-on-a-chip. Lab Chip 23(3):437-450, 2023
14. Hirakawa Y, Yoshioka K, Kojima K, Yamashita Y, Shibahara T, **Wada T**, Nangaku M, Inagi R. Potential progression biomarkers of diabetic kidney disease determined using comprehensive machine learning analysis of non-targeted metabolomics. Sci Rep 12(1):16287, 2022

## 2. 学会発表

- 1) **要 伸也** : CKD におけるチーム医療と腎臓病療養指導士～難治性腎疾患におけ

る役割を含めて～.ランチョンセミナー, 第 65 回日本腎臓学会学術総会, 神戸市, 2022 年 6 月 12 日.

- 2) **要 伸也** : 日本腎代替療法医療専門職推進協会への期待.日本腎臓学会との連携と今後への期待～腎臓病療養指導士との連携を中心に～.学会・委員会企画 18, 第 67 回日本透析医学会, 横浜,2022 年 7 月 3 日.
- 3) **要 伸也** : CKD 看護における腎臓病療養指導士の役割～看看連携を含めて～共同企画 2 : 日本腎臓病協会「CKD 看護における腎臓病療養士の役割～看看連携～」. 第 25 回日本腎不全看護学会, 名古屋,2022 年 10 月 15 日.

## H. 知的財産権の出願・登録 該当なし